

19-02-28

## 群馬大学と協力し自動運転バスによる実証実験を実施します

名古屋鉄道株式会社(本社:名古屋市中村区、代表取締役社長:安藤隆司)及び名鉄バス株式会社(本社:名古屋市中村区、代表取締役社長:加藤信貴)と、国立大学法人群馬大学(所在地:群馬県前橋市荒牧町、学長:平塚浩士)は、自動運転バスの実証実験を、尾張旭市及び長久手市において、4月8日(月)から12日(金)まで実施します。

本実験は、自動運転バスの運行や安全性向上に向けた検証と、自動運転に対する社会受容性の醸成を目的に実施するもので、公道におけるバスの自動運転の実証実験は、愛知県内では初の取り組みとなります。実験走行は、当社瀬戸線尾張旭駅を出発し、長久手市の愛知医科大学病院を到着点とする4.5kmの区間で実施します。

自動運転バスの運行にあたっては、群馬大学等が研究開発を行っている自動運転車や運行管制システムを活用します。本実験は、民間事業者による公道での自動運転実証実験の促進のために、国家戦略特区の事業として、2017年に愛知県に設置された「あいち自動運転ワンストップセンター」の支援を受けて実施します。

また、4月8日(月)の15時から、自動運転バスの出発式を行ないます。

詳細は下記のとおりです。

### 記

1. 実験期間 4月8日(月)～12日(金)の5日間
2. 実験区間 瀬戸線尾張旭駅(尾張旭市東大道町原田 2591 番地 3)を出発し、愛知医科大学病院(長久手市岩作雁又 1 番地 1)を到着点とする一般道(4.5km)  
※詳細なルートについては別紙参照
3. 使用車両 日野自動車製「日野ポンチョ」をベースとした自動運転バス実験車両を使用(群馬大学が所有)
4. 運行形態 上記区間で、9時30分から16時30分までの間、1日あたり5往復程度を運行予定(詳細は調整中、また天候により実験を中止する場合あり)  
自動運転は、運転席にはドライバーが乗車し、輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれがある場合は、手動運転を実施します。
  - 8日(月)から11日(木)までは関係者が乗車し運行
  - 12日(金)は一般モニター(定員30名 事前申込制)による試乗を実施

## 5. 実験に関する会社・団体

- (1) 実験主体 名古屋鉄道株式会社  
名鉄バス株式会社  
国立大学法人群馬大学
- (2) 共同研究 株式会社 NTT データ
- (3) 協力 愛知県  
尾張旭市  
長久手市  
学校法人愛知医科大学  
グリーンシティケーブルテレビ株式会社

## 6. 実験における役割

- 当社は、公共機関との調整や情報発信を実施
- 名鉄バス株式会社は、運行支援やテストドライバーの提供を実施
- 群馬大学は、次世代モビリティ社会実装研究センターにて自動運転に関し共同研究を行なっている株式会社 NTT データと共に、自動運転システム実証実験パッケージ(自動運転車両及び運行管制システム等)の提供及び実証実験の実施と、テストドライバーの教習を実施

## 7. 出発式の開催について

本実験の実施にあたり、自動運転バスの出発式を以下のとおり行ないます。

- 日 時 4月8日(月)15時00分～15時15分
- 場 所 グリーンシティケーブルテレビ株式会社  
(尾張旭駅北側バスロータリー隣接)
- その他 出発式の開催前に、14時30分から、本実験の概要説明及び質疑応答をお受けいたします。

## 8. その他 試乗会一般モニターへの応募方法

- ・ 当社ホームページより、一般モニター試乗申込み用ページにアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。  
[https://service.meitetsu.co.jp/p\\_enq.php?id=339](https://service.meitetsu.co.jp/p_enq.php?id=339)
- ・ 応募締め切りは3月24日(日)で、当社より発表させていただきます。(応募多数の場合は抽選)

以上



自動運転バス 実験車両  
(日野自動車製「日野ポンチョ」ベース)



自動運転バス 実験走行ルート

【参考 群馬大学における自動運転に関する取り組み】

群馬大学は、次世代自動車産業振興に資する産学官金連携イノベーションの拠点形成を目指し、2016年12月に「次世代モビリティ社会実装研究センター」を設置し、関連分野の企業や自治体との連携・協力関係のもとに、地域社会に根付く自動運転による移動サービスの創出に向けた研究と社会実装を目指した活動を進めている。自動運転研究開発に取り組み、実証実験の実績を蓄積していきながら、2020年に、技術的にも社会的にも自動運転に対応していく社会の実現、完全自動運転/無人自動運転移動サービス(レベル4)をはじめとする次世代モビリティの社会実装を目指している。

以上